



令和7年度入学式



晴れ渡る青空そして桜満開の中、4月8日（火）に、令和7年度の入学式が挙行されました。これから伝統ある加治木高校の一員として、校是「清新澆刺」「質朴剛毅」「堅忍不拔」のもと、他人を思いやり、強い意志を心に抱き、忍耐強く、仲間たちとともに、なりたい自分に向かっていきましょう。



翌日には上級生との対面式(写真上)が、11日(金)には部活動紹介(写真下)がおこなわれました。行事の多い4月ですが、早く学校生活に慣れてください。



創立記念式典・講演

明治30年(1897年)の旧制中学校創立から128年を迎えた本校では4月19日(土)に、創立記念式典と記念講演が行われました。



式典の前には、本校の亡師亡友の碑の前で慰霊祭もおこなわれました。講演は本校42期生山下倫史氏によるもので、「やりたいことをやりなさい。」という力強いメッセージから感銘を受けた生徒たちが、講演後に山下氏を取り囲んでいました。



↑
講演の内容
はこちらへ

令和7年度 進路実績

国公立大学 **185** 合格

医・医	1人	歯学部	1人	薬学部	4人
北海道大	1人	東京外語大	1人		
東京科学大	1人	筑波大	2人		
名古屋大	1人	広島大学	5人		
大阪大	1人	福岡教育大	11人		
神戸大	2人	熊本大学	14人		
九州大	4人	鹿児島大学	57人		

私立大学 **417** 合格

福岡大	42	鹿児島国際大	85
志學館大学	29	公立短大	23

令和7年度の大学入試においては、上記のように生徒一人一人が志望校に挑戦し、進路目標を達成しました（数字は過年度生も含む）。卒業生たちは最後まで粘り強く学習に取り組む背中を後輩たちに示してくれました

学校行事など、学校の様子を、たくさんの写真とともにブログで随時発信しています! →



○ 3年生から中学生へ ～高校の最上級生として～

藤本 はな
(隼人中出身・バレ一部)



私が中学生の皆さんに伝えたいことは、メリハリをつけることです。高校生になると、

部活や勉強で毎日があっという間に過ぎます。だからこそ、遊ぶときは思いきり楽しみ、勉強するときは集中することが大事です。加治木高校には、そんな日々を思いきり楽しめる環境があります。ここで充実した高校生活を過ごしてください。



雉子牟田 侑馬
(日当山中出身・野球部)



僕が高校で頑張っていることは部活と勉学の両立です。朝早く学校へ行き、放課後部

活に取り組み、家で自宅学習をする。毎日忙しく大変ではありますが、最大限サポートしてくださる先生方や切磋琢磨し協力し合える友達と過ごす加治木高校の日々はとても充実しています。みなさんも周りの人と助け合いながら頑張ってください。



岩井田 陽向
(帖佐中出身・卓球部)



僕が高校生になって大事だと感じたことは、時間の使い方です。高校では中学生のと

きに比べて勉強や部活で毎日忙しいです。そのなかで友だちと遊んだり、趣味にいそしんだりしながら文武両道を実現するには時間を有効に使うことが大切になります。そのため、中学生のうちから時間の使い方を意識して生活してほしいです。



○ 2年生から中学生へ ～高校生として1年間過ごして～

清家 将太
(重富中出身・写真部)



みなさんは加治木高校を「ずっと勉強に追われる学校」と思いませんか。普段は必死に勉強していますが、実はその

分行事がとても豪華なんです。昨年度は文化祭で商店街とコラボをしました！高校生は中学生の頃とは一味違う楽しい経験をたくさんできます。勉強も青春も全力で楽しみたいそのあなた！加治木高校で待ってます！

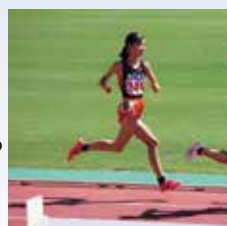


内 愛心
(舞鶴中出身・陸上部)



私は加治木高校で勉強と部活動の両立を頑張っています。部活動が忙しく勉強時間が確

保できないこともあります。必ず予習をして毎時間の授業を大切にすることを心がけています。また、慌ただしい毎日やきつい練習を一緒に乗り越える仲間の存在も大きいです。中学生のみなさん、加治木高校で充実した高校生活を送りませんか？



蒔田 野々花
(陵南中出身)



高校ではやるが増えるので時間の使い方が重要だと感じています。

授業の進度や難易度が上がるので計画的に予習や復習に取り組むことが大切です。目標を持ち、日々の学びに丁寧に向き合うことが充実した高校生活につながります。

このようなことを中学生の時から意識して頑張ってください。



○ 1年生から中学生へ ～高校に入学して～

海江田 隼人(吉松中出身・吹奏楽部)



私は片道2時間かけて登下校していますが、それを苦痛だと思ったことは全くありません。それは、今の高校生活がとても楽しいからです。

クラスメイトは心から笑い合える友であり、良きライバルでもあります。こういう環境を手に入れるためにも、中学生の皆さんは「未来」を楽しくする「今」の努力を忘れないでください！



小牧 禮仁(加治木中出身)



私が、高校に入学して以来、漠然と感じていたものは、新しい環境への不安でした。しかし、入学して一か月、早くもその不安は薄れつつあります。先生方は様々な面で親身になってくださり、先輩方は優しく、同級生は自他共栄の精神のもと、楽しくお互いを高め合えるような存在です。中学生の皆さん、期待を胸に加治木高校に来てください。待ってます。

